

「ミンナ DE カオウヤ」プロジェクトが「アルバイト」を緊急募集！

ミンナ DE カオウヤは、被災地の障害者福祉施設で作られた商品を都市部で販売して、被災した福祉施設の障害者の収入を支えるプロジェクトです。この度、ミンナ DE カオウヤでは店舗スタッフとして活動して頂けるアルバイトを緊急募集します。学生や主婦の皆様と一緒にご自身のペースで和気あいあいと活動して頂けます。

- 募集要項○
- 活動場所： 2～3月：梅田スカイビル 地下1階
「滝見小路」内店舗
(4月以降：大阪市内で店舗継続予定)
- 活動内容： 店頭販売、イベント販売、商品企画、
店頭企画 等
- 活動日： 応相談
(週3日以上、土日祝勤務可の方を優先します)
- 定休日： 月曜日
- 条件： 時給 800 円

詳しい内容を知りたい方は下記の連絡先までメール、電話をお願いします。(アルバイト募集の件、とお伝え下さい)

ミンナ DE カオウヤ 電話：090-9098-8534
メール：insight@insweb.jp

子ども服のおさがりイベントのお知らせ

いなくなっった子ども服・子ども靴を持ち寄り、必要な方にとって帰ってもらうイベントを開催します。60センチ～140センチの子ども服やマタニティウェアを無料で自由にどうぞ！

当日は一般の方も多数来られるイベントですが、「いもにかい」を見て、と受付でお伝えくだされば、開場時間より30分早く入っていただけますので、どうぞ早めにお越しください。当日は古着の受付もします。また持ち帰り用のエコバッグ等各自でご準備ください。

日時： 3月6日(火) 開場 10:30～12:00
(いもにかいご覧の方 10:00～12:00)

場所： 阿倍野区役所 2階大会議場
(大阪市阿倍野区文の里 1-1-40)
地下鉄谷町線「文の里」駅
3番出口北へ徒歩5分

主催： 阿倍野子育て情報紙 ままっち

問合せ：ままっち 重松 (090-8539-2594)

大阪市内へ避難されている方へパソコンの寄贈があります

(株)オーグス総研様・(株)サンモアテック様より、東日本大震災により大阪市内へ避難されているみなさまへ、使用済みパソコンを再生した「はじまるくんパソコン」の寄贈をいただきました。ご希望の方は別紙詳細・申込申請書をご確認・ご記入のうえお申込みください。

寄贈対象： 東日本大震災の影響により大阪市内へ避難されている方

寄贈台数： 10台 ※希望者多数の際は抽選となります

応募方法： 別紙申込申請書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒にて郵送、または下記 FAX にてお申し込みください

FAX 番号：06-6765-5618
(大阪市ボランティア情報センター 担当：修田)

応募締切： 3月9日(金) 必着

※着払い発送となりますので送料のご負担をいただきます。
※パソコンはクリーニング等してありますが中古品となります。

福島県からやってくる少年サッカーチームの応援をしませんか？

平野区少年サッカー連盟が主催する大会で、福島県二本松市、いわき市の少年サッカーチームを招いて交流試合があります。福島の子供達を応援しませんか。／日時：3月24日(土) 8:30～17:00／場所：Jグリーン堺(地下鉄「住之江公園」から南海バスで約15分)堺市堺区築港八幡町145番地／問合せ：大阪市ボランティア情報センター ☎06-6765-4041

癒しフェアへご招待！

東日本大震災復興支援団体「被災地に癒しを届けよう！」主催『癒しフェア』へご招待いたします。毎月第3日曜日に定期的に開催しているイベントです。／内容：占星術＆タロット、タイ古式マッサージ、ラッキーメイクアップ 等／日時：3月18日(日) 12:00～18:00／場所：大阪市東成区役所(地下鉄「今里」1番出口)東成区大今里2-8-4 1F ふれあいパンジー／申込・問合せ：info@heal-the-world ☎06-6458-5814

音と遊ぶ・音で作る・音を発見するワークショップ 大友良英 子どもオーケストラのご案内

簡単なルールと指揮者の指示にしたがって思い思いに音を出し、その日限りのアンサンブルを試みる「集団即興オーケストラ」のためのワークショップです。演奏が得意な人はもちろん、楽譜が読めなくても、初心者でも、学校の音楽の授業が苦手な子でも、気軽に参加してみてください！

日時：3月29日(木) 14:00～16:00
※15:30より発表会を予定
(進行状況により多少時間変更する場合あり)

場所：南津守小学校 2階多目的室
(大阪市西成区南津守 6-1-14)

対象：小学3年生から高校生まで
※演奏の経験・上手下手は問いません。

講師(指揮)：大友良英(音楽家)

参加ミュージシャン：小島剛・森山ふとし・山路知恵子

申込・問合せ：ブレーカープロジェクト実行委員会事務局
Tel: 070-5046-8667 (11:00～19:00)
E-mail: breakerproject2011@gmail.com

被災地支援ボランティアバスに相乗りして里帰りしませんか

大阪市都島区社会福祉協議会が、被災地支援のボランティアバスを企画しています。活動場所は宮城県宮城郡七ヶ浜町で、がれき撤去・田畑の塩害復旧・鎮魂の催しへの参加などを予定しています。宮城県へ向かうこのボランティアバスに相乗りする避難者の皆様に募集いたします。帰郷等にご利用ください。

日程
3月 8日(木) 19時 都島区社協集合～
9日(金) 朝 仙台駅にて下車
3月 11日(日) 夜 仙台駅集合～
12日(月) 朝 大阪にて下車

費用：無料

対象：東日本大震災による県外避難者

定員：8名(希望者多数の場合は抽選とさせていただきます)

申込：06-6765-4041
大阪市ボランティア情報センター

締切：2月25日(土)

ご質問、ご連絡等は...



IMONIKAI バックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

＜利用時間＞
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

＜休館日＞
日曜・祝日・国民の休日及び

年末年始(12月29日～1月3日)

E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp



発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX: 06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

3.11 from KANSAI ～まだまだ、これから～ を開催します

東日本大震災から1年を迎える3月10日・3月11日、梅田スカイビルにて、震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI」が開催されます。このイベントは復興への祈りを捧げるとともに、ボランティア活動のふりかえりや復興商品の販売、さらに関西に避難して来られた方々の交流会を行い、関西から市民ができることを一緒に考える催しです。

「忘れない」「おたがいさま」「関西でできること」を意識して“まだまだ、これから”の精神で復興を応援するイベント、避難者の皆様にも是非ともお越しいただきたく思います。



避難者のつどい 3.11 “with” KANSAI 要・申込み

関西へ避難されて来られた方々がつどい、情報交換やつながりを作る場として、また、支援活動に取り組む団体も一緒に参加して、支え合い・つながりを強める交流会です。題名の“with”には、関西と「一緒に」という想いをこめています。関西で知り合った同じ避難者の方と、また関西で支援に取り組む仲間たちと話し合い、つながりを作りませんか。

申込：①参加者全員のお名前 ②年齢 ③保育等希望の有無
④現住所 ⑤電話番号 ⑥出身県 をお電話ください

締切：3月2日(金) ※事前にお申込みください。

場所：梅田スカイビル タワーウエスト 3階ステラホール

電話 06-6765-4041 大阪市ボランティア情報センター

開催日時
3月11日(日)
10:30～13:00
10:00 受付



ステージイベント 展示・物販ブース

ゲストによるトークライブなど盛りだくさんのステージです。各ブースでは復興ビジネスによる製品やボランティア活動の展示、飲食の模擬店が並びます。大阪市社協では恒例の「芋煮」(11日のみ)を出展します。



前日3月10日にもステージ・ブースの出展があります。10日11:00からのオープニングには、青森県八戸市から避難されている書道家の日吉丸(ひよしまる)さんによるライブ書画があります。

復興への祈り

3月11日 14時46分18秒
その瞬間に手を繋ぎ、祈りをこめて黙祷を捧げます。



子ども向けプログラム・保育

ボランティアのお兄さん、お姉さんと一緒に楽しく遊べるプログラムを多数用意しています。鯉のぼりへのペインティングやUJのキャラクターショーなどで楽しく過ごしましょう！
乳幼児の保育もお任せください。



↑鯉のぼりのペインティング例



衣料品・おもちゃ無料バザー

新品の春物・夏物衣料を集めました。子ども服やおもちゃなども充実させていますので、好きな物をお持ち帰りください。

その他多数のイベントやブースをご用意しておりますので是非ともお越しください！



東京電力の賠償基準(区域内の方の場合)の問題点Q&A

東京電力の請求書に記入して直接請求をする場合、損害賠償の金額が、他の方法(原発ADRや裁判手続)を取った場合より低くなると考えられます。東京電力の基準で問題がないと考えられる項目については直接請求をされても変わりませんが、慰謝料や、生活費の増加費用など、問題のある項目も多々ありますので、合意書に署名・押印される時は慎重に判断してください。また、弁護士会の無料相談や、東日本大震災による原発事故被災者支援関西弁護士団も結成されていますので、お気軽にご相談ください。

Q1

東京電力から請求書類が順次送られてきていますが、今請求しないといけないのですか？

A1

いいえ。東京電力に対する請求が法律的に認められなくなる時効については、考え方は別れますが、どれだけ早く考える立場でも、原発事故から3年ですので、まだまだ急いで請求する必要はありません。弁護士など専門家に相談し、じっくり検討してから請求してください。

原発事故被災者支援関西弁護士団ご連絡先

(TEL) 06-6362-9615

弁護士事務局長

(FAX) 06-6362-5143

大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

Q2

将来の見通しも立たず不安で一杯なのに、精神的損害については、一律月額10万円(避難所に避難した場合は12万円)というのは低すぎませんか？

A2

慰謝料に関する東京電力の基準は、文科省の原子力損害賠償紛争会の策定した「中間指針」にしたがっているものですが、これは基本的には自宅から離れ不便な生活を余儀なくされたことにより生じた精神的損害です。したがって、たとえば、子供を持つ親の放射線の影響を心配することによる精神的苦痛や、避難してきたことにより家族同然に可愛がってきたペットが死んでしまったことによる精神的苦痛はこの中に含まれないと考えられます。したがって、別途、精神的損害に対する慰謝料として請求すべきです。

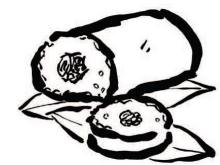
Q3

東京電力の請求書類に記載して請求し、合意書に署名押印してしまうと、後から追加の損害賠償請求はできないのでしょうか。

A3

東京電力は、項目ごとの合意はできるけれど、同じ項目の中でバラバラに合意はできないとしています。そして、合意した項目については、やむを得ない事情により請求漏れなどがあった場合には追加請求の相談に応じるとしています。したがって、やむを得ない事情がないとして追加請求が認められない可能性がありますので、合意書への署名・捺印は、慎重にする必要があります。

関西が本場です！



東北×関西交流クッキング
～恵方巻きに復興の願いをこめて～が開催されました

1月22日(日)、大阪市社会福祉研修・情報センターの調理実習室で、大阪市社会福祉協議会と健康栄養支援センターの共催で、NPO法人み・らいずのご協力を得て、お料理を通しての交流会「東北×関西交流クッキング」を開催いたしました。これまでのイベントの中で芋煮やずんだもちなど郷土料理を作る中で、「一緒にお料理をすること」で繋がっていけるものがあるのではないかと思います。今回の開催に至りました。



↑鍋を一生懸命火にかけます

↓お母さんとの共同作業は初めて？



食後は、節分にちなんだ豆まき。赤鬼と青鬼に分かれて、玉入れ方式で鬼の持っているかごに豆を入れるのを競い合いました。また、その後はお茶を飲みながらの交流会も行われ、現在の生活や今後のことについてお話や、ボランティアの方と意見交換もしました。



NPO法人み・らいずに協力いただいた保育ボランティアの様子



↑恵方巻きの他に、天王寺かぶらのおすまし、しろな煮びたし、日の出みかんも作りました



当日は大人12名と子ども15名、合わせて27名の方にご参加いただき、節分の恵方巻などを作りました。最近でこそ節分の恵方巻きは全国的に知られてきましたが、もともとは関西が発祥とされています。恵方巻きは、その年の恵方に向かって一言も話さず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かぶりするのが習わしとされています。大人も子供も入り混じって作った恵方巻きは、恵方へ復興の願いを込めて、今年の恵方である北北西を向き、全員で丸かぶりしました。全員で黙々と食べるその光景は、なんだか不思議な、しかしとても微笑ましいものでした。

避難者の方、ボランティアの方、支援団体すべてがひとつに包まれて太巻きになったような暖かい会となりました。今後も定期的に開催できるイベントになるように考えていきたいと思ひます。

＜地元へお戻りになることを考えられている方へ＞ ＜転居される方へ＞
全国避難者情報システムに登録されている方は退去される際に各区役所にご連絡ください

大阪に来られた際に「全国避難者情報システム」に登録された方は、転居される際に再度区役所へご連絡をお願いいたします(お電話で結構です)。

全国避難者情報システムをそのままにしておくと、あなた様宛の送付物が次に入居される方へ届くこととなります。実際に次に入居された方からご連絡をいただいたことがありますので、ご注意ください。

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

大阪弁の「アカン」は東北方言の「ワガンネ」(?)

大阪で暮らすようになってから「アカン」を耳にしない日はありません。大阪弁のアカンは共通語の「ダメ」に相当します。でも、こう書くと、大阪の人に「その説明はアカン」と怒られてしまうかもしれません。たしかにアカンにはダメという言葉ほど相手を強く否定するニュアンスはありません。その秘密はアカンの語源にありそうです。「埒(らち)があかぬ」のように何ともしようがないという意味のアカヌが形を変えてアカンになりました。だから、アカンには単なる否定ではなく、どうしようもないというニュアンスも込められているのです。

ところで、大阪弁のアカンは東北弁の「ワガンネ」に少し似ていませんか？東北弁のワガンネも「寒くてワガンネ」「そんなものを買ってもワガンネ」のように共通語のダメという言葉にあたる使われ方をしますが、アカンと同様、相手を強く否定するわけではありません。そもそも東北弁のワガンネは、「知らない」という意味のワカラナイが変化したものです。知らなければ何もできないということから、東北弁のワガンネはどうしようもないという意味を表すようになりました。細かく見ればアカンとワガンネの意味は異なりますが、どちらも共通語のダメと違い、相手を真っ向から否定しません。だから私たちは、「アカンもんはアカン!」とか「そんなことせばワガンネ!」と叱られても、そこに愛情を感じるのかもしれません。

(追手門学院大学 櫛引祐希子)

【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子

E-mail:yukushib@res.otemon.ac.jp